

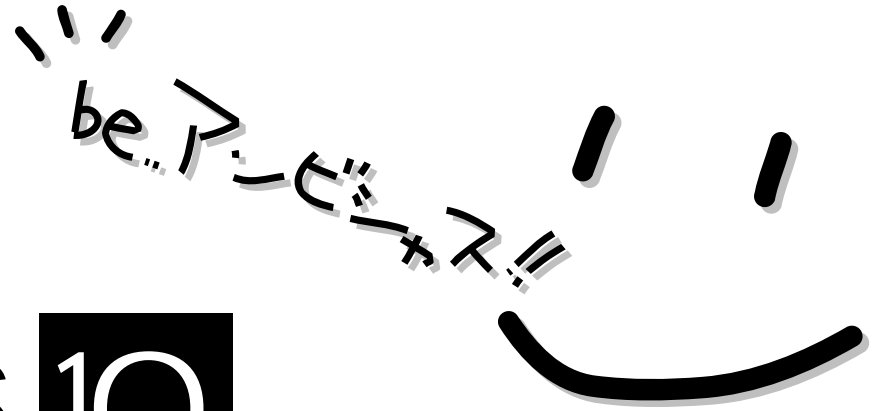
あいかわ

アンビシャス広場がわらばん

Ambitious News

10
OCT. 2002

編集・発行 あいかわアンビシャス広場委員会 〒839-0861久留米市合川町 471-1
TEL.0942-43-3815 FAX.0942-43-9183 URL <http://seagulls.co.jp/aikawa/>



合川校区にアンビシャス広場がオープンした。「アンビシャス広場事業」は、福岡県が昨年より推進している「青少年アンビシャス運動」の一環として行われている事業で、子供達がそれぞれの目標を見つけ、それぞれに向かって前向きに努力することが出来るように、家庭や地域における教育力の低下を補うため、特に小中学生を対象に始められたもの。

子供は大人の背中を見て育つ。子供達をとりまく、また子供達自身が引き起こす様々な事件が増加する中、将来に豊かな夢を描ききれないのは、むしろ親が不安や閉塞感を感じているからに他ならない。21世紀へと時代が急速に変化する中、それまでの一律で画一的な価値観が崩壊し、多様性が求められていく中、子供をどう育てていったらいいのか、どう接したらいいのか分からない。そんな気持ちを漠然と持っているのが、親も地域も含めた今の社会の姿かも知れない。

しかし、教育の原点は「ともに育ちあうこと」

子供達の素直な感性に大人が感じ入ることも多い。家庭や地域の中で小さな疑問や問題を抱え込まず、ストレートに投げかけることが出来れば、素晴らしい地域社会が育って行くはず。

「あいかわアンビシャス広場」は対象となる子供達の数1000人にも及ぶ広域の広場事業としてスタートした。その中で、子供達一人一人の、また各家庭や小さなコミュニティそれぞれの声を丁寧に反映していく、そんなネットワークを育てていきたいものだ。

あいかわ アンビシャス広場 オープン!



学校キャンプ(7月13-14日)

開所式に続いて、学校キャンプの始まり。子供達は上級生下級生おりまぜて、8名ずつの班を作り、上級生のリーダーが色々指導をする。

下級生達が先にプール遊びをしている間に、上級生は二手に分かれて、飯ごう炊さんとカレー作りを行った。何しろ300人分だから半端な量じゃない。



食事の準備が済んだあと、上級生も交代で



プール遊び。しばらく自由時間を過ごした後、一斉に夕食。食事のあと陽が落ちかけた頃、全員運動場に集まって「キャンプファイヤー」三村先生の指導で、レクリエーションゲームを楽しんだ。

最後はいいよお楽しみの「きもだめし」。親父の会のお父さん達が自分から楽しんでいろいろと仕掛けを作る中、班ごとに懐中電灯を持ってスタート。夜の学校は怖いはずだけど、みんなで行けば怖くない?わいわいがやがやと楽しんだ。

広場開所式(7月13日)

2002年7月13日「あいかわアンビシャス広場」の開所式が行われた。当日は、開所式終了後に学校でのキャンプも計画されており、県、市からも来賓が多数参加する中、午後1時30分からの式典には子供達204人を含め、親・教師・地域からもたくさんの応援が駆けつけ、約300人が集まった。



「今年から始まった学校週五日制にどう対応するかという事で、昨年地域との会話を進める中、今回の『あいかわアンビシャス広場』をオープンすることになりました。合川校区は、昨年・一昨年のふれ愛文化祭開催時には、地域から講師として100名もの参加をい



ただいたり、また風水害等のトラブル時には非常に素早く協力行動を起こしていただいています。『アンビシャス広場事業』は地域の教育力を最大限に活かそうという、新しい活動ですが、合川校区にはその基礎は充分に出来ていると感じます」と、広場委員長の今村会長。簡潔な式典の中、最後には子供達の和太鼓演奏のアトラクションで締めくくられた。

就寝は体育館と校舎の一部を利用した。興奮してなかなか寝付けない子も居たようだが、地域とPTA、小中学校の親父の会で深夜まで巡回警備。警備の担当は朝にはくたくたになったが、合川校区初めての学校キャンプは、子供達の笑顔のうちに終了した。

たくさんのご協力、大変ありがとうございました。

広場に参加した子供達の声を載せています。様々な広場の中で、緊張したり、嬉しかったり、きつかったり...子供達が体験の中で成長する姿を見てください。



新しい学校・ 学びの場再発見

えーるピアくるめLLアドバイザー
三村京子先生



永い間教師をしてきた私にすら、一度もその発見のチャンスが無かったことを今回は体験させていただきました。こんなに感動し、こんなに自立心旺盛な子供達を見たことはありませんでした。

あいかわアンビシャス広場は学校を解放し、子供の新しい感動を伝えあう大きな体験広場になりました。子供達の社会力をつける遊びの仕掛人は先生方と保護者PTA。地域の支援ネットワークも充実していました。

この日、私が感じた第一の感動は運動場のキャンプファイヤーの集いでした。キャンプファイヤー用の枕木など本当に準備よくでき上がった広い交流広場です。そこでのレクリエーションの提供が私の役です。曲に乗ってアルプス一万尺「おさかな天国」「アイーン体操」等…広い運動場で私の声が届かないところは、各班のグループリーダーさんが小さい子に動きを伝えてくれました。ありがとうございます。

第二の感動は、校舎内の体験広場の時間の時です。肝試しゲームの始まりです。体育館からグループ別スタートが開始されました。スタート直後、校舎の入口に怪談の語り部役のお父さんの見守る顔。「昔々、こんな怖いことがありました…」イントネーションのはっきりした声の響きは怖さを誘います。細かく計画が重ねられ、子への愛を秘めたことばと動きは最高の演出効果で、私も脱帽です。

伝え聞いた子供達は班リーダーの上級生の服を握りしめています。暗い廊下。そこは昼間平気で通っている廊下なのです。「お兄ちゃん、お姉ちゃん、ボクの手を離さないでね」「うんわかった、大丈夫」縦割りの強い絆が、強く、さらに強く生まれた姿を見せつけられた気がしました。自分の頼れるリーダーです。「キャー」階段を登った途端、頬にべったり冷たいモノ。それは用意されたこんにやくでした。握りしめた手と手、光るライト、半開きになった窓からの風。恐怖心に誘われた悲鳴。リーダーから慰めの声。涙が笑顔になった一瞬。ことばではない、手と手の信頼感。まさしく子供の生きる力の伝わりを見守ることが出来ました。優しい心、思いやり、助け合いと、ことばを並べるより、体験で得ることに素晴らしさがあります。

あいかわアンビシャス広場から私が学んだ感動は、初めての感動です。オリジナリティに富んだあいかわアンビシャス広場は全国一の体験学習、心づくりの広場だと感じました。



フライングディスク

(5月25日,6月29日,9月3~5日)

1年2組 やました まい
たいいくかんでフライングディスクをしました。はじめてしました。ちょっとしかとびませんでした。むずかしかったです。でもとてもたのしかったです。ありさちゃんとあそびました。ありさちゃんがとびたのがくちにあたりました。いたくてちょっとないてしまいました。こおりでひやしてもらいました。



芋苗植え、草取り

(6月1日,7月6日)

6年3組 衛藤 弘人
アンビシャスで芋植えをしました。最初は簡単だと思ったけどやってみるとむずかしかったです。でも楽しかった。最後までやるとこしがいたくなりました。いたかったけど楽しかった。またやりたいです。



6年3組 嶽 篤史
芋の苗植えをしていけいけいけんになったと思います。芋がどういものかもわかりました。芋の植え方もわかった。こんど家でも植えたいです。

6年3組 伊藤 翔祐
芋苗植えは苗を植えるコツや開ける幅と最初は簡単だけど、あとから草取りで山のようにたまるほど草があつてとてもつかれました。でも芋苗植えはとてもおもしろいです。



ロープ結び

(6月15日)

4年2組 直塚 美里
合川小の体育館にロープの結び方をならいに行きました。まずボーイスカウトのおじさんにロープの結び方を書いたプリントをもらって、説明を聞きました。でも、絵を見ただけではむずかしくてどうなっているのか分かりませんでした。次に実さいにロープを使って四つの結び方をならいました。おじさんのやり方を見ながらマネをしました。わたしがやってみるとむずかしくて一回ではできませんでした。3~4回してなんとか結べるようになりました。この結び方はキャンプに行ったときにテン



トをささえたり、人を助けるときや上に登っていききたいときなどに使うそうです。もしわたしがキャンプに行ったら使ってみたいと思いました。ボーイスカウトのみなさん、いろいろ教えてくださってありがとうございました。



ソフトバレー(6月22日)

6年3組 梅本 悠平
ソフトバレーははじめてで少しむずかしかったけど、だんだんルールが分かってきて、とても自しんがついて、大人対子どもでやったとき負けてざんねんだった。だけどバレーボールのルールが少しだけ分かったし、よい経験になったなと思います。

基地づくり(7月27日)

6年1組 檜橋 涼
ぼくは基地づくりに参加して、初めてダンボールなどの物を使って基地を作りました。ガムテープのはり方やダンボールの組合せ方などを教わり、とても役にたちました。この技術をいかして、自分で作ったりしてまた楽しもうと思います。



木工教室(8月9日)

3年1組 山中 ゆうき

木工教室でイスを作りました。はじめに、作り方をおしえてもらいました。つくりはじめたときどうすればいいのかわからなかったけど、おしえてもらったらわかってきました。

つぎに、ぼんどをつけたり、くぎをうったりしました。くぎをうっていたら、まちがえてじぶんのゆびをたたいてしまって、かわがむけていたかったです。くぎをぜんぶうったらきかいでかどをおじさんがまるくしてくれました。それがおわってからイスにペンキをぬりました。ぬるときにすわるところと足のうらを赤でぬりました。

そのつぎに、シートの上で赤色だけかわかしてから、かわくまでまわって、たまにかくにんして、かんぺきにかわいてから、足に黄色をぬってから、かわかすときにひっくりかえしてぬりました。かわいて、公みんかんに入ったら、パソコンしていた人にしんれい写真を見せてもらいました。さだこが一番こわかったです。ジュースをのんだり写真をとったりしました。



料理教室(7月30日)

3年4組 樋口 結理

サンドイッチを作りに行きました。たのしかったです。おひるにはみんなでつくったサンドイッチやフルーツポンチを食べました。おいしかったです。またつくりたいです。

かえっておかあさんになになに



をしたよと、いろいろしました。サンドイッチをつくっていると、家でもつくりたいなおもいました。フルーツポンチには、すいかがいっぱい、いっぱい、はいていました。それにフルーツポンチにはサイダーをいれました。かぼちゃのスープのみました。

親子草取り(8月24日)

6年4組 田上 瀬奈

校庭の草取りをしました。最初私はお母さんが「合川小の草取りに行くよ～」と言った時いやだなあ～と思っていました。でも実際やってみると楽しくて草がぬけるととても気持ちよかったです。

私の友達も来ていたので一緒にしました。すぐに抜ける草もあれば、ぜんぜんぬけなくて、友達と一緒にひっぱってぬけたと思ったら根の方はぬけていませんでした。ほかの草をぬこうとしたけど、根までぬけないと気がすまなかったのでも木のぼうで根のまわりをほじくっていました。すると根のおくのぼうが出てきたので、ひっぱりました。そしたらぬけました。ぬけた時はとても気持ちよかったです。

とちゅうで雨がふってきました。わたりろうかのところで雨やどりをしていました。いっときして少し雨がふっていた時も草取りをしはじめていたので私達もしました。私達は10時から歯医者に行かなければならなかったのので9時までしかできませんでした。草取りは楽しかったです。

子供達に感動をもらった あいかわアンビシャスやるキッズ指導 三宮法子先生



体を動かすことが大好きな私がよさこいに惹かれるようになって2年になります。全国に広がっているよさこいはその町の特長を曲にして表現して踊っています。踊り子と観客が一体となって自分の住む街を元気にしているのを感じました。

「Genki! 久留米」を合い言葉に躍りで盛り上げていきたいという熱い想いで、今年6月にオリジナル曲「くるめ恋唄」を制作しました。さっそく、合川小学校PTA会長の今村さんに子供達の評判を聞いたところ「ノリが良く、子供達も大好きで、ぜひ踊りたいといっています。練習の指導をお願いします」との連絡をいただき指導に行くことになりました。でも、本当に子供達が久留米を好きになってもらえるのが嬉しかったです。

振付は母なる筑後川をイメージして、風・波・山・稲穂とわかりやすい動きで、子供達はことばに出して自分なりに体を動かします。「もっと元気を出して!大きい声で笑顔でね!」「もっと手を伸ばして、かっこよく!」「もっと跳んで、屈んで、大きく!」直接の指導は4回でしたが、子供達は暑い夏に負けず、真剣に頑張りました。その集中力と上達の早さには、本当にビックリしました。最後の練習日には感動のあまり、涙が出ました。ありがとう!

8月3日の水の祭典前夜祭には、子供10名と私たちのチーム「ぼんどわごんODORI隊」で、一緒にラストを飾り、多くの人にとっても喜んでいただきました。涙、涙でした、ありがとう!

8月4日の祭り本番パワーストリートでは、別々に踊りましたが、きっとアンビシャスの子供達130名が心一つにして、その元気な踊りで観る人に大きな感動を与えたことでしょう。感謝!

子供達、先生、PTAの皆様とアンビシャスの交流が出来、大変お世話になりました。「ぼんどわごんODORI隊」はこれからもたくさんの人に踊っていただけるよう、地道に活動を続けます。あいかわアンビシャスの皆さん、自信を持って踊って下さいね。来年の祭りでもまたお会いしましょう。元気一番ね!



広場の歩み

学校週五日制対策から
あいかわアンビシャス広場オープンへ

3月

11日 第1回合川校区学校週五日制検討委員会

4月

20日 久留米つつじマーチ参加
かねてより準備をすすめていた第5回久留米つつじマーチへ参加する。小学校では6年生全員が20kmコースを完走。素晴らしい!

5月

6日 第2回合川校区学校週五日制検討委員会
これまでの学校週五日制検討から、アンビシャス広場事業へとステップアップを決定する。
20日 あいかわアンビシャス広場インターネットウェブサイトオープン。
25日 フライングディスク大会

6月

1日 芋植え(協力:枝光活性化委員会)
15日 ロープ結び教室
17日 広場委員会
22日 ソフトパレー
29日 フライングディスク
30日 学校玄関に掲示板設置

7月

3日 広場委員会
6日 筑紫駅へキャンプの線路の枕木取り
芋畑の草取り
8日 アンビシャス説明会
10日 6年生まつり練習開始
13日 アンビシャス開所式
学校キャンプ
17日 広場委員会
20日 ビデオ鑑賞会
27日 基地づくり
30日 料理教室

8月

3日 久留米まつり前夜祭
4日 水の祭典久留米まつり
9日 木工教室
17日 サマーフェスタ合川出演
24日 親子草取り
27日 広場委員会
広場委員会構成を改革、冬時間対策で平日の広場開所を学校運動場とパソコン室、合川幼稚園運動場へ移す

9月

3~5日(平日イベント)
フライングディスク
8日 合川校区運動会
10~12日(平日イベント)
虫取り
17日 アンビシャス広場研修会(他広場の視察)
17~19日(平日イベント大なわとび)
25日 広場委員会
広場広報誌第1巻発行
24~26日(平日イベント・竹細工)
29日 合川小学校運動会

10月のアンビシャス広場

10月

- 1日 運動会代休でお休み
- 2~3日 フライングディスク
- 5日 高良川コスモス祭り(枝光橋を渡ったところ)
- 8~10日 虫取り(運動場)
- 12日 パソコン室・校長室
- 15~17日 秋の草花取り
- 19日 昔遊び(公民館)
- 22~24日 プールで魚釣り
- 26日 校区ウォークラリー
- 29~31日 プールで魚釣り



あいかわアンビシャス広場

9月からは小学校と幼稚園が広場になりました



広場をささえていただく方々

あいかわアンビシャス広場委員会

広場委員長	今村 好典	合川小学校父母教師会会長	委員	川添 寿晴	合川小学校父母教師会副会長
"副委員長	豊福 至	良山中学校父母教師会会長	委員	野瀬 利宗	"
"	溝口 寛	合川校区公民館館長	委員	佐田 典子	久留米市主任児童委員
委員	井上 大助	合川公民館振興会会長	委員	田中真理子	"
委員	原田 定晴	市ノ上自治会長(自治協会長)	委員	上川床隆代	合川小学校地域委員長
委員	石田 正記	枝光自治会長	委員	岸川 信子	合川小学校校長
委員	吉江 国雄	十三部自治会長	監査	佐々木道則	合川公民館振興会副会長
委員	塩足 学	和泉自治会長	監査	上野 浩一	合川小学校父母教師会監査
委員	坂口 正徳	朝妻自治会長	渉外担当	田中 晴子	" 副会長
委員	荒木 幸男	下弓削自治会長	広報担当	松野あけみ	" 庶務
委員	波野ミツ子	東合川団地自治会長	会計担当	衛藤 真弓	" 会計
委員	中願寺敏行	雇用促進団地自治会長	"	田上 律子	" 庶務
委員	眞子 俊明	社会福祉協議会会長	事務局	未安 正俊	合川小学校教頭
委員	井上 吉久	老人クラブ連合会会長	"	石村 剛宏	合川校区公民館主事
委員	荒木 節子	婦人会会長	"	坂本 和子	合川校区公民館事務員
委員	青柳 正夫	民生委員会会長	"	平野 正純	合川小学校教諭
委員	川原 一男	人権啓発推進協議会会長	"	嶋田 百合	合川小学校父母教師会副会長
委員	高嶋 勝光	青少年対策協議会会長			順不同
委員	荒木 常義	防犯協会会長			
委員	浜崎 勝美	環境衛生組合連合会会長			
委員	小柳 文子	ふれあい合川の会会長			
委員	猪飼 慶子	婦人学級			
委員	江頭 渡	合川幼稚園理事長			
委員	深町 行男	久留米市体育指導員			
委員	谷口 浩二	子供会連合会会長			

アンビシャス広場では、この他たくさんのボランティアを募集しています。ぜひ積極的なご参加をお願いします。

